

1 学校長挨拶

2 委員長挨拶

3 今年度の学校評価・来年度の学校経営計画について（校長より）

令和6年度の学校経営計画においては、目指す学校像を「生徒に寄り添う学校」、「自他を認め合うことのできる学校」、「希望の進路を実現できる学校」へと変更している。

「興味関心をもち、学ぶ意欲のある向上心溢れる生徒を育成する」、「学びを通して幅広い視野をもった芯の強い生徒を育成する」、「思いやりのある優しい心を持った生徒を育成する」、「集団生活を通して、コミュニケーション力のある豊かな人間性を育成する」という4点を目標とし、最終的には生徒からは「入学して良かった」、保護者からは「入学させて良かった」、教職員からは「働けて良かった」と思われる福泉高校を目指したい。

Q：年度が変わっても中期的目標の内容があまり変わらない。

A：来年度計画で改善したい。

Q：マナー・ルール以前に法律を守らせる教育も必要になってきているのではないか。

A：校内喫煙の改善などを通じて遵法精神を育みたい。

Q：資料に「マナーやルールを守れる…」とあるが、ルールが先に来るべきではないか。

A：「ルールやマナーを守れる…」と改め、ルールを守ることを伝えていきたい。

4 学校教育自己診断アンケート 結果と分析（教頭より）

「授業はわかりやすく工夫されている。」という設問では、肯定的な回答が生徒では85%と高かったのに対し、保護者では50%と低かった。生徒の求める授業と保護者の求める授業に差があることが考えられるほか、授業見学に参加される保護者が少なく、授業の取り組みが理解されていないことが考えられるため、授業見学等の機会を拡充していく必要がある。

また「学校の決まりやルールを守っている」、「クラブ活動や生徒会活動は活発だ」という設問では生徒の回答と教員の回答に大きく差がある。

部活動に関しては部活動大阪モデルにより堺西高等学校がペアリング校となっている。今年度はサッカー部と軽音部でペアリングを実施した。

Q：自己診断の特に保護者の数値に差が大きい。

A：保護者のアンケートへの回答率が低いためと考えられる。（20%未満）  
実施の仕方を改善し、回答率の向上に努めたい。

Q：「授業はわかりやすく工夫されている」や、「体育祭や文化祭は楽しい」という設問等に対して、教員の回答に“まったく当てはまらない”という回答が3～5%いることはどういうことか。（自身の授業も工夫していないのか）

A：設問に対する捉え方に違いがあるためだと思われる。  
全体的な質問項目を主体的な表現に改める。

Q：部活動に参加している生徒の数だけではなく、生徒が部でどのような活動をしているかを知ることも大切ではないか。

A：部活動の内容が見えるアンケートに改善したい。

## 5 今年度の取り組み状況について（各分掌より）

### 「生活指導部」

単純事象が増加傾向ある。また、重大事象に関しては前回より「差別事象」が1件、追加されている。

遅刻件数は8307件だが、生徒数が減少しているため、一人当たりに換算すると前年度よりも増加している。

次年度より単車（自動車）運転免許取得、及び、同車両運転を認める方向で校則を見直す。ただし、同車両による通学や、制服による運転・同乗は継続して懲戒指導とする。

### 「進路指導部」

本年度は前年度と比べて、進学を選択する生徒が少なかった。

現在も進路指導を行っている3年生徒がいるので、最後まで支援したい。

### 「生徒会部」

現在、卒業式に向けて執行委員がステンドグラス製作中。22日に体育館3階の窓部分に設置予定。

### 「事務」

今年度、実施した改修等の工事報告。

Q：喫煙は1回で停学になるのか。

A：停学を施している。また繰り返した場合は停学期間が長くなる。

Q：重大事象はすべて無期停学になるのか。

A：無期停学になったものもあるが、すべてが無期停学になるわけではない。

Q：無期停学の期間はどのくらいか。

A：有期停学が最長10日であるので、それ以上の期間で、課題をやり切り、懲戒会議に諮ったうえで、許可されれば復帰となる。

Q：男子トイレには和式便器が残っているのか。

A：校舎2階、4階の男子トイレが和式のままだになっている。

## 6 その他

### BCP作成について

Q：福泉高校は避難場所になっていると思うが、支援物資等はどうなものがあるか。

A：地震避難所となっている。堺市より指定されており、倉庫内の備蓄品は地域の方が使用することを目的としている。備蓄内容については次回搬入時に確認予定。  
生徒・教職員用の備蓄品に関しては、教育庁及びPTAより5年計画で配備予定。  
現在は2年目分まで配備が完了している。